

横浜市立不動丸小学校 学校だより

令和6年1月9日



たいじゅ もり
大樹の森

1月号



<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fudomaru/>



子どもたちを見守る「大樹の木」

校長 山下 謙一郎

新年あけましておめでとうございます。今年も不動丸小学校への変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。「令和」も6年となり、時が過ぎゆく早さを感じます。

昨年12月に行われた本校の創立50周年を記念した「不動丸コンサート」のご参観、誠にありがとうございました。多くの保護者の方々にご来校いただき、子どもたちが一生懸命合唱や合奏に取り組んでいる様子を見ていただきました。また、地域の皆様の代表といたしまして、学校運営協議会の方々にもご参列いただき、共にこの創立50周年をお祝いいただきました。あらためてお礼申し上げます。

さて、この不動丸コンサートに合わせて作成された巨大な大樹。今も体育館の後方に展示されていますが、この大樹には子どもたち一人ひとりの手形が押されています。まさに手作りの木ですね。学校だよりのタイトルにもあるように、不動丸小のシンボルと呼べるものになった「大樹」。世の中では少子化が叫ばれるようになってずいぶん経ちましたが、こうして全校児童約650名分の手形を見ると、不動丸小はまだまだ子どもたちの元気な声がたくさんこだまする素敵な学校だと実感します。ありがたいことです。



もっとグッと近くから手形を見てみると、この手の形は本当に様々だということが分かります。サイズの大小はもちろん、個性にあふれた手形は、子どもたちそのものなのかもしれません。

大きなイベントは終わりましたが、この大樹の木はこれからも子どもたちを見守り続けることでしょう。また、見守るだけでなく、子どもたちの元気な声をもらってさらに大きくなるのかもしれません。どうか令和6年も不動丸小学校の教育活動をあたたかく見守っていただけると幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。